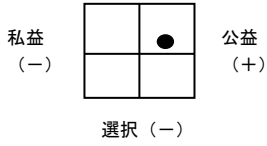
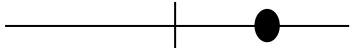


事業実績シート

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）				1,000,000円				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金			500,000円				
	一般財源			500,000円				
成果（活動）指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	ランチフェア食事提供数	波佐見グルメへの関心度	回	目標			2000
					実績			2609
				目標達成率（％）				130.5
	②				目標			
					実績			
				目標達成率（％）				

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		必需（+） 
	（公益性） <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	（必需性） <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	（2）行政関与の妥当性評価		（3）廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い （-） 0 （+） 		（影響内容、程度等） 近年様々な施策により波佐見焼や波佐見町の知名度は上昇、年々観光客も増加している。新たな切り口からの誘客を図るためには、基幹産業である波佐見焼と観光するうえで重要なコンテンツであるグルメを組み合わせることは本町ならではの素材であり、廃止することで食という観点からの観光客を失う恐れがある。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		実施期間は2か月ほどで、平日のみのランチが対象の飲食店もあり、1日の限度数もあったため、来店者しても対象メニューが食べられない方もいた。 しかし、来店者にはランチ自体を楽しんでいただき、使用されているまめ皿にも興味を持ってもらえたようで、この食と器のコラボイベントはこれまでの客層とは違う新たな角度からの切り口として、交流人口拡大のためにも継続して実施する必要性がある。		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 提供する飲食店と来店者のニーズを調整して対象メニューの充実や実施期間の見直しを行うなど、工夫できる余地はある。			
実施予定 期 日	H31				
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない					
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		観光協会や陶磁器卸商業組合と協力して実施しており、官民一体となった取組を行っている。		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		参加費など直接的な収益が無い状況であり、助成金による事業展開に頼らざるを得ない。		

5 今後の方向性

必要性の点検から 実施(予定)時期	<input type="checkbox"/> 事業休止 未定	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	食と器の融合による地域コミュニティの活性化のためにも今後も事業継続し、新たな観光客の獲得を目指す。				